



校章の由来

台縁を鏡で象ることにより、
鏡の訓（明るい心、清い心、真の心、人を愛する心）を
意味する。

沖縄県立小緑高等学校 校歌

作詞：宮島 長純

作曲：渡久地 政一



校歌

作詞 宮島 長純
作曲 渡久地 政一

一 水なごむ 入江をめぐり

悠久の 緑したたる

松が枝に 陽はかがやきて

奥武山 日に新なり

あゝいまぞ いまぞ

展けゆく 歴史の栄光

声高く いざや歌わん

二 道遠く はるかなりとも

大海に 至らんものと

たゆみなく 流れてやまぬ

国場川 けふも澄みたり

あゝいまぞ いまぞ

学ぶ日を 互にたたえ

ひたすらに 研き究めむ

三 明らけく 清けき心

まこともて 人を愛さむ

かわるなき 鏡の訓

天地と 栄えむものぞ

あゝいまぞ いまぞ

若き日の ゆたかなる日々

高らかに とわに たたえむ